

義務教育学校企画準備室だより

平成30年1月22日 第2号

義務教育の新たな学校である 義務教育学校の良さを紹介します



☆9年間一貫した教育目標・教育方針による系統的・計画的な教育ができます。

- ・学習や生活のきまりを統一して指導することができます。
- ・9年間の小中一貫教育を行い、より一層の学習意欲と学力向上を図ることができます。

☆1人の校長を中心とした、1つの組織による一貫した教育ができます。

- ・1人の校長を中心として、教職員が1枚岩になった学校にすることができます。
- ・1つの職員室の中で、小学校と中学校の教職員が1つの組織の一員として仕事をすることができます。
- ・職員会議や諸会議、研修や教科部会等を1つの組織として行うことができます。



☆多くの教職員による児童生徒への9年間継続した指導・支援ができます。

- ・児童生徒のことをよく理解した多くの教職員が、きめ細やかに指導・支援することにより、いじめや不登校を生まない、早期発見・解決できる環境をつくることができます。
- ・中1ギャップを含め、児童生徒の生活や学習への不安を解消することができます。

☆5年生からの段階的な教科担任制を実施します。

- ・5年生から段階的に教科担任制を実施することにより、教職員の専門性を生かした指導をしたり、継続して児童生徒の実態を見取り、指導・支援を行ったりし、学習意欲と学力の向上を図ることができます。

☆9年間のカリキュラムの柔軟な編成をすることができます。

- ・各教科等の特性を踏まえ、9年間を見通したカリキュラムを編成することにより、学力向上を図ることができます。
- ・9年間で「4-3-2」や「5-4」など弾力的に学年段階を区切ることで、児童生徒の実態に応じた教育活動を行うことができます。



☆多様な異学年交流による豊かな人間性と高い志を育成することができます。

- ・9つの学年の児童生徒の相互交流により、低学年の児童は、高学年の生徒に憧れて高い志を持てるようになり、高学年の生徒は、低学年の児童に対して、優しさや思いやりを発揮したりするなど、豊かな人間性を身に付けられるようになります。

☆英語教育をはじめ、各教科等の教育を充実させることができます。

☆6年生の部活動体験や小中合同練習を行うことができます。

☆一貫教育の創造と教職員の交流、協働による教育力の向上を図ることができます。

※上記のようなたくさんの良さがありますが、通学区域の拡大への対応、施設整備、小中両免許を保有した教職員配置、児童生徒の環境の変化に対する丁寧な対応など、取り組むべき課題もあります。児童生徒や保護者・地域の皆さまにとって、よりよい学校になるよう研究や準備を進めていきたいと考えています。